

令和2年度第2回学校運営協議会

今年度2回目の学校運営協議会を11月4日（水）に開催しました。

【話し合われたこと】

1 コミュニティ・スクールの在り方と役割について

○ 市教委より、小国町での取り組みや、文部科学省からの取組事例の中から厚木市の取り組みを紹介いただきました。

※ コミュニティ・スクールを活性化させていくためには、学校と地域が近い関係を築くことがとても大切である。



2 協 議 （要点のみ掲載）

(1) 1学期から2学期前半にかけての学校の様子と今後の見通しについて、校長の説明後に委員よりご意見をいただきました。

(校長) 発達障害の子どもに対する今後の対策について。

※検査用具の充実と保護者の理解協力、関係機関との連携を一層進めていく。

(校長) 萩野学園の学力向上対策について。

※授業での探究型学習+新たな視点での取り組みとして「個別学習支援・家庭学習の充実」を、本校の強みである9年間で育成していく。
※学校としての方向性は定め、やり方はそれぞれの子どもの発達段階に応じて指導していく。

(委員) 朝ご飯について、「食べない」、「時々食べない」子どもがいる。互いに共稼ぎで簡単なもので済ませてしまうことも多いのではないか。コンビニなどの弁当の保存料などは子どもの心身に影響を及ぼすのではないか。

(校長) 天然だしなどを使うことで、子どもの心身の健康を保つことができることは科学的に証明されている。専門家をお招きしての講演などを考えている。



(2) 運営協議会としての支援・協力の具体的な方策について、委員からご意見をいただきました。

(校長) 学校として、スクールサポートスタッフの方、学習指導員の方がいらっしゃることで大変助かっている。日中、職員の点検（プリントの○付け）などを手伝ってくれる方がいれば、大変助かる。



(委員) 呼びかけるとだれかしら協力できる方がいると思う。

(委員) ネット関係に強い方などが必要なのではないかな。

(委員) どのように広めていくか、協力をどのようにして得ていくかなどを考えていかななくてはいけないのではないかな。

(校長) 委員だけでまかなうだけではなく、精通している方と共に活動を行うことができればよいと考えている。さらに、地域の方が使えるコミュニティールームを作りたいと考えている。

(委員) 伝統芸能や教科・部活動で協力することができる。

(委員) 熊が出たなどがあると登下校の安全が心配。バス停への迎えなど仕事で対応できないということもあるので、地域の高齢者の協力が得られるといい。

(委員) 朝の見守り隊がある。毎日となると大変だが、何かあった時に対応できる人を募っておくということも大事だと思う。

(委員) 地域の人材や資源などをうまく使いたい。例えば、体験学習、環境整備などがあるが、各地域の環境保全会の協力を得ることができると思う。さらに、地域の長老の協力を得たり、紹介したりすることができる。